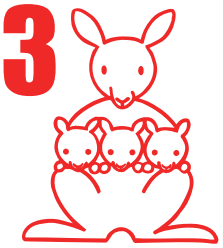
全附P連PTA研修会

第14回全国大会 2023



開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために

～ 新時代の扉を開こう！これから求められる力とは～

全附P連絵画コンクール
2022年度会長賞

主催 一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会（全附Ｐ連）

協力 全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会

後援 文部科学省
日本教育大学協会

一般社団法人全国国立大学附属学校ＰTA 連合会（全附Ｐ連）

「PTA 研修会　第14回全国大会」

開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために
～新時代の扉を開こう！これから求められる力とは～

1　開催目的　(1) 日本の公教育を国立大学および附属学校と共に支える全国規模のＰＴＡ組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。

(2) 日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。

(3) 全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し、解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。

2　開催日時　令和５年９月29日（金）～９月30日（土）

3　開催場所　ハイアットリージェンシー 東京　地下１階

4　参加対象者　国立大学附属学校の保護者および教職員

全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会（全附後連）「教育後援会会長会」同日開催

ZENFUREN

CONTENTS

2 ご挨拶

3 祝　辞

≪1日目≫

4 開会行事

5 基調講演 1
阪根 健二氏 講演
「なぜいじめ対策が難しいのか？」

6 省庁行政説明／ PTA 団体表彰発表

7 分科会 1
「自転車世界一周の夢実現」
～夢の始まりは、学校になじめないことだった～

8 分科会 2
「変化する時代の子育てとＰＴＡの形」

9 分科会 3
「こども家庭庁と今後のこども・子育て政策について」

10 分科会 4・特別支援部会
「すべての人がスポーツを楽しめる場の創造を目指して」
～インクルーシブスポーツキャラバンにおける取り組み～

11 教育後援会会長会
「教育後援会の運営を考える」

≪2日目≫

12 基調講演 2
松田 文登氏 講演
「異彩を、放て。」～福祉×アートで世界を変える～

13 全附 P 連活動報告／カンガルー保険説明

14 パネルディスカッション
「これからの附属学校の期待されるあり方」

15 閉会行事

16 大会記念品／販売ブースのご案内

19 学校園・参加者数

23 お礼の言葉／終わりの言葉

24 大会実行委員名簿

全附 P 連絵画コンクール 2022
【会長賞】

1
大阪教育大学附属平野小学校 3 年
「平わのビル」

2
愛知教育大学附属幼稚園 年長
「だいすきな　まりあのひまわり」

3
大阪教育大学附属池田小学校 6 年
「はばたけ！無限の可能性」

4
福岡教育大学附属福岡小学校
特別支援学級 3 年
「大すきなぶどう、いただきます」

5
茨城大学教育学部附属小学校 1 年
「ママ、だいすき！」

6
福岡教育大学附属小倉中学校 3 年
「本の世界」

ご挨拶

桑名 良尚
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会　会長

全附Ｐ連ＰＴＡ研修会第 14 回全国大会の開催にあたり、主催者を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

３年前に突如やってきた新型コロナウイルス感染症流行の結果として、多くの人々が傷つき、疲弊し、悲しみ、我慢を強いられてきました。特に影響をうけた世代に、教育や対人スキルを身に着ける機会が妨げられた子どもたちがいます。助けが欲しいと声に出せないでいる子どもたちが多くいます。助けを求めることは勇気ある行動であることを、私たち保護者が子どもたちに示し、対話の中から解決策を模索し、笑顔につなげることができると信じています。

また、グローバル化や気候変動などの地球環境問題、少子化・人口減少、都市と地方の格差などの社会課題やロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化の中で、一人一人がウェルビーイングの実現を目指し、この社会を持続的に発展させていかなければなりません。そして、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、「持続可能な社会の創り手」になることを目指していかなければなりません。将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められています。Society 5.0 においては、「主体性」、「リーダーシップ」、「創造力」、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「表現力」、「チームワーク」などの資質・能力を備えた人材が期待されています。

さて、各単位ＰＴＡのみなさまにおかれましては、日頃より全附Ｐ連の活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。また、本日は全国各地より多くの方々にお集まりいただきまして、誠に有難うございます。重ねてお礼申し上げます。多くのみなさまにお集まりいただいたことは、志を同じく活動する全国の仲間と集い、同じ学びや気づきの場を共有できることを大変嬉しく思うのとともに、ひと時たりとも無駄にすることなく、少しでも多くの気づきや情報、成果をお集まりいただいたみなさまにお持ち帰りいただかなくてはと本大会の運営スタッフ一同さらに身の引き締まる思いです。

２０２０年から３年間にわたり、子どもたちの環境に大きく影響を与えてきたコロナ禍がようやく収束の兆しをみせ、子どもたちも我々保護者も対面で話ができるようになりました。今大会は「子どもたちとこの国の未来のために ～新時代の扉を開こう！これから求められる力とは～」を開催スローガンとし、コロナ禍以前に戻るのではなく、コロナ禍での経験も踏まえ、新たな時代を築いていけるよう、ＰＴＡとして、保護者として、附属学校として今、何をすべきなのかを考えていきたいと存じます。

最後になりましたが、本大会のみならず日頃よりご指導、ご鞭撻をいただいております関係各位に心より感謝申し上げご挨拶とさせていただきます。

祝辞

鎌田 正裕様

令和５年度全国国立大学附属学校連盟理事長

全附Ｐ連ＰＴＡ研修会第14回全国大会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。ＰＴＡ連合会の皆様には、日頃より各国立大学附属学校園の運営ならびに諸活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和２年に始まったコロナ禍は予想以上の長期間に及び、学校現場や全附連では様々な活動が妨げられてきましたが、５月の５類感染症への移行後は、学校現場を始め全附連でもその多くがコロナ禍以前のスタイルに戻ってきました。ご存じのように、６月には附属学校連盟代議員総会を各総会とともに群馬県の高崎において４年ぶりに対面形式で開催することができました。また、全国の附属学校園の生活も、ようやくコロナ禍以前の日常に近づいてきたように感じます。附属学校園の場合、コロナ禍においても教員養成や教育研究をやめられないという意味で、その対応は公立学校よりさらに厳しい状況にあったと言えます。にもかかわらず、この３年間を無事に乗り越えてきたということは、附属学校園を支える力がいつもそこにあったということで、全附Ｐ連の皆様のご理解・ご支援なしには到底なし得なかったことと思います。全国国立大学附属学校連盟は、今後もＰＴＡ連合会の７０年以上におよぶ伝統と知見を活かし、緊密な連携のもと、様々な課題の解決に向けて取り組んで参りたいと考えております。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会の今後益々のご発展と日本の学校教育の輝かしい未来を心より祈念して、お祝いの言葉とさせて頂きます。

1日目 開会行事

センチュリールーム　13：00　～　13：45

［司会］　副会長　**二村　美里**

1．　開会のことば

齋藤　　伸

一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会 副会長

2．　国歌斉唱

3.　主催者挨拶

桑名　良尚

一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会 会長

4.　文部科学大臣挨拶

盛山　正仁 氏

文部科学大臣

5.　来賓挨拶

塩谷　　立 氏

国立大学附属学校同窓会 会長

森　　英介 氏

国立大学附属学校振興議員連盟 会長

鎌田　正裕 氏

全国国立大学附属学校連盟 理事長

國分　　充 氏

日本教育大学協会 会長

基調講演

センチュリールーム　13：45 ～ 15：05

［司会］　副会長　**二村　美里**

演題　「なぜいじめ対策が難しいのか？」

国立附属学校でのいじめ対応が、話題になることがありました。そこで今年度改めて、阪根先生にいじめ対策の難しさをご講演いただきます。

阪根　健二 氏

鳴門教育大学大学院 特命教授

■職歴　経歴

1954 年　神戸市に生まれる。
1979 年　東京学芸大学大学院教育研究科修士課程修了。同年から香川県坂出市内の中学校に勤務。
1997 年　香川県教育委員会事務局義務教育課主任指導主事。
2002 年　坂出市立白峰中学校教頭。
1999 年～ 2003 年　香川大学客員教授を兼務。
2003 年　香川大学教育学部学校教育講座助教授。
2011 年　鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授。
2016 年　地域連携センター所長併任。現在、鳴門教育大学大学院特命教授（名誉教授）。研究領域は学校危機管理、生徒指導。

■著書など

生徒指導のリスクマネジメント

■資料

https://drive.google.com/file/d/1agCJWo8Cb5kcqmeWSBA6MsblxwNrN2tM/view

省庁行政説明

センチュリールーム　15：20 ～ 15：50

［司会］　副会長　**二 村　美 里**

文部科学省　教員養成企画室・財務省・金融庁

＜講師＞

小 倉　基 靖 氏
文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

浅 井　智 士 氏
財務省 大臣官房地方課 広報連絡係 課長補佐

串 田　　有 氏
金融庁 総合政策局 総合政策課 課長補佐

PTA 団体表彰発表

センチュリールーム　15：50 ～ 16：00

［司会］　副会長　**二 村　美 里**

一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会表彰

ＰＴＡ団体表彰　会長賞

北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程ＰＴＡ

新たな地域イベントを創造する「サンセットフェスティバル」

＜発表者＞

田 中　陽 一 氏
北海道大学教育大学附属釧路義務教育学校 後期課程 副校長

分科会１

センチュリールーム　16：20 ～ 17：50

［司会］　副会長　**森 川　　誠**

テーマ

「自転車世界一周の夢実現」
～夢の始まりは、学校になじめないことだった～

小学校の時の夢をどのようにして叶えたか、またその経験をどのように社会還元してきたかなど子どもたちに伝えたいメッセージを含めて、様々な体験をもとに講習いただきます。

坂 本　　達 氏

株式会社ミキハウス 社長室　冒険家

■活動

現在勤務の傍ら講演活動を続け、著書の印税でお世話になった西アフリカ・ギニアの村に井戸や診療所を設立。ブータンでは幼稚園を支援。東日本大震災以降、チャリティトークイベントを続け、被災遺児と被災孤児への育英金・奨学金等として印税を全額寄付。講演活動は 1400 回を超える。現在、３人の子どもたちと自転車による「世界６大陸大冒険」に 11 年計画で夫婦で挑戦中。日本テレビ系「笑ってコラえて！」、新聞雑誌などメディア出演多数。

■職歴　経歴

1968年　東京都生まれ
　7歳～11歳　父親の仕事の関係でフランスに暮らす
1992年　早稲田大学政治経済学部卒業、㈱ミキハウスに入社
1995年9月～1999年12月　４年３ヶ月で自転車世界一周、43ヶ国55,000キロ走破
2000年1月　㈱ミキハウス人事採用担当に復職
2001年1月　自転車世界一周の体験を綴ったフォトエッセイ『やった。』発刊
2002年5月～12月　自転車で日本を縦断する「夢の架け橋プロジェクト」
2004年　内閣府　第31回「東南アジア青年の船」ナショナルリーダーで参加
2005年4月　『やった。』が全国の高校英語の教科書に（増進堂・受験研究社）
2005年5月　愛・地球博　市民プロジェクト「地球を愛する100人」に出演
2005年6月　西アフリカ・ギニア共和国に恩返しプロジェクトの井戸が完成
2005年10月　内閣府「 21世紀ルネッサンス青年リーダー招へい」事業アドバイザー
2005年11月　JICA国際協力機構「国際協力フォトコンテスト」理事長賞受賞
2006年4月　早稲田大学客員教員　（「地球体験から学ぶ異文化理解」担当）
2006年10月　「関西・こころの賞」受賞（毎年奉仕活動、スポーツ、芸術等で活躍した人を表彰）
2008年11月　「夢 その先に見えるもの」　ドキュメンタリーDVD完成　文部科学省選定作品
2014年4月　著書『やった。』『ほった。』が高校英語リーディング文部科学省検定教科書に
2015年6月　日本テレビ系全国ネット　「笑ってコラえて！」に登場
2017年10月　テレビ東京系全国ネット　「世界ナゼそこに？日本人」に登場
2021年4月　著書『ほった。』が中学３年生国語教科書　東京書籍「新しい国語」に採択
2022年7～8月　一家５人でスペインのキリスト教巡礼路、カミーノを500キロ走行

分科会 2

天平　16：20 ～ 17：50

［司会］　総務副委員長　**山ノ内　元治**

テーマ「変化する時代の子育てとＰＴＡの形」

講師の鈴木先生は教えるべきところはきちんと教え、その上で考えさせるという授業づくりを研究・実践されています。考えるからこそ、気付きが生まれ、その気付きを周りの子どもが共感したり、教師が価値づけたりすることによって子どもたちの学びが形成されていきます。それらの経験を踏まえ、これまでと違って、子どもにとっても教師にとっても、そして保護者にとっても楽しく、嬉しい生活科を中心に、わが子とのかかわり方や、健やかな成長のために PTA の必要性・役割などを楽しいエピソードを交えながらお話いただきます。

その上で PTA の先進事例の発表を交え、改めて PTA の意義と価値をディスカッションします。

＜講師＞

鈴木　隆司氏
千葉大学教育学部附属小学校 校長

＜事例発表＞

大谷　和弘氏
上越教育大学附属中学校 前 PTA 会長

田中　亜弓氏
埼玉大学教育学部附属中学校 PTA 会長

＜助言者＞

西　　明夫氏
文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 家庭教育支援室長

＜次第＞

1．分科会進行説明（司会より）
2．講演
3．PTA 活動事例紹介①
4．PTA 活動事例紹介②
5．パネルディスカッション
6．助言
7．まとめ

分科会 3

白鳳　16：20 ～ 17：50

［司会］　広報委員長　**羌　叡 應**

テーマ「こども家庭庁と今後のこども･子育て政策について」

次世代の豊かな社会の情景を映す「こどもまんなか」とは何か？

少子社会において、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援し、社会全体の意識改革を後押しする「こどもまんなかアクション」。

全てのこども・子育て世帯を支援する 6 つの方針、「伴走型相談支援」「産後ケア」「子育て世帯の家計を応援」「『共育て』応援」「こども誰でも通園制度」「授業料等減免」により、経済成長実現や少子化対策を図る「こども未来戦略」。

「こども家庭庁は、こどもがまんなかの社会を実現するためにこどもの視点に立って意見を聴き、こどもにとっていちばんの利益を考え、こどもと家庭の、福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るためのこども政策に強力なリーダーシップをもって取り組みます。」と宣言するこども家庭庁から成育局総務課長である髙田行紀氏をお招きし、この 4 月に発足したばかりの子ども家庭庁や、今後のこども・子育て政策について、わかりやすくお話いただくだけでなく、今話題の「日本版 DBS（Disclosure and Barring Service）」についても、詳しくご説明いただきます。

＜講師＞

髙 田　行 紀 氏

こども家庭庁 成育局 総務課 総務課長

＜次第＞

1. **分科会進行説明 (司会より)**
2. **講師紹介**
3. **講演**
4. **質疑応答**
5. **閉会**

分科会４・特別支援部会

飛鳥　16：20～17：50

［司会］　専門委員　**増田　梓**

テーマ

「すべての人がスポーツを楽しめる場の創造を目指して」
～インクルーシブスポーツキャラバンにおける取り組み～

宮城県内各地で開催されている「インクルーシブスポーツキャラバン」。

障がいの有無や程度に関わらず楽しめるレクリエーションで参加者の笑顔がはじけます。

このイベントの主催者である相澤氏は、宮城教育大学附属特別支援学校のＰＴＡ会長として活動されるなかで、障がいのある子の親が抱えがちな悩みを知り、それらを軽減するための積極的な活動を楽しみながら行ってこられました。

附属特別支援学校にお子さまが通われていたころの思い出も交えながら、明るさとパワーをみなさまに届けます。

＜講師＞

相澤　直氏
障がい者サポーターズ Golazo！（ゴラッソ）代表
（宮城教育大学附属特別支援学校　元ＰＴＡ会長）

渡辺　篤史氏
ベガルタ仙台 普及担当部長 兼 スクールマスター

上野　開美氏
筑波大学 国際総合学類４年

＜行政説明＞

五十嵐　裕氏
文部科学省 総合教育政策局 総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
障害者学習支援推進室 室長補佐

＜助言者＞

加藤　宏昭氏
文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官

＜次第＞

１．分科会進行説明（司会より）

２．行政説明（五十嵐　裕氏）

３．講演（相澤　直氏・渡辺 篤史氏・上野 開美氏）

４．講評（加藤 宏昭氏）

５．閉会

教育後援会会長会

平安　16：20～17：50

［司会］　総務財務委員長　**森　　牧**

テーマ　教育後援会の運営を考える

時代が変わり、社会環境が変わり、法律が変われば、当然教育後援会も変わっていかなければなりません。教育後援会運営ガイドラインや教育後援会改革事例を参考にして、運営の仕方を考えていきます。

＜来賓＞

小倉　基靖氏
文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

小暮　聡子氏
文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室 室長補佐

須貝　結子氏
文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室 係長

鎌田　正裕氏
全国国立大学附属学校連盟 理事長

宮本　昌尚氏
一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会 副会長

＜次第＞

1．第1部　教育後援会ガイドラインの説明
2．第2部　教育後援会改革事例発表
3．第3部　グループディスカッション

2日目 基調講演 2

センチュリールーム　9：00～10：15

［司会］　副会長　二村　美里

テーマ

「異彩を、放て。」
～福祉×アートで世界を変える～

障がいのある方のアートと企業をつなぎ、価値を高めるという新しい価値を創造されています。ダイバーシティ・多様性社会の時代のフロンティアとしてご講演いただきます。

松田　文登 氏
株式会社ヘラルボニー代表取締役副社長

■講師プロフィール

代表取締役副社長。ゼネコン会社で被災地の再建に従事、その後、双子の松田崇弥と共にヘラルボニーを設立。４歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーの営業を統括。岩手在住。双子の兄。世界を変える 30 歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞。2022年、「インパクトスタートアップ協会」（I m pact Startup Association）の理事を務める。著書『異彩を、放て。「ヘラルボニー」が福祉×アートで世界を変える』

期間：2023年9月30日～10月6日

クーポンコード：special0930

https://store.heralbony.jp/pages/heralbony-special-sale?utm_source=spe

カンガルー保険の説明及び全附Ｐ連活動報告

センチュリールーム　10：15～10：45

［司会］　副会長　**二村　美里**

カンガルー保険紹介

東京海上日動火災保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
株式会社第一成和事務所
海上商事株式会社

いじめ防止対策活動事業

後藤　友樹
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会 財務委員長

あいサポーター研修

齋藤　　伸
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会 副会長

全附Ｐ連活動報告

山口　泰一
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会 専務理事

第４回全附Ｐ連みんながつながるオンライン文化祭 2023

みんなの活動を魅せてください！

※本大会中、大塚特別支援学校による販売ブースでの活躍の様子も後日アップされますのでご期待ください。

https://www.zenfu-bunkasai.org/

※ ID・パスワードはリンク集に記載しておりますのでご参照ください。

パネルディスカッション

センチュリールーム　11：10 ～ 12：30

［司会］　副会長　**二村　美里**

テーマ「これからの附属学校の期待されるあり方」

はじめに平成 29 年度に開催された「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書」を振り返ります。その後、先進的な取り組みをされた 2 校の先生に実践内容を発表していただき、「令和の新しい日本型教育」の中で求められる附属学校の姿をステークホルダーとして検討していきます。

＜講演＞

小倉　基靖 氏
文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

＜事例発表＞

彦坂　秀樹 氏
東京学芸大学附属竹早小学校 元副校長

神谷　直典 氏
埼玉大学教育学部附属小学校 副校長

＜パネリスト＞

小倉　基靖 氏
文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

吉田　　隆 氏
奈良女子大学附属中等教育学校 校長

彦坂　秀樹 氏
東京学芸大学附属竹早小学校 元副校長

神谷　直則 氏
埼玉大学教育学部附属小学校 副校長

呉本　啓郎 氏
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会 元会長

＜コーディネーター＞

桑名　良尚
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会 会長

閉会行事

センチュリールーム　12：30 ～ 12：40

［司会］　副会長　**二村　美里**

大会宣言

髙地　たか子

一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会
副会長・全国大会実行委員長

閉会のことば

真壁　雄一

一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会
研修委員長・全国大会副実行委員長

特別支援学校の生徒が心を込めて作りました

お配りした記念品は、全国の附属特別支援学校の生徒が製作した作業製品です。
ご家庭や学校でご活用いただき、特別支援学校に通う子どもたちへ関心をお寄せください。

北海道教育大学附属特別支援学校

- リサイクルはがき（3 枚入り）
- クラフトバンドコースター
- クッキーみたいな箸置き（3 個入り）

群馬大学共同教育学部附属特別支援学校

- ハーバリウム

福島大学附属特別支援学校

- 革ストラップ
- メッセージカード

茨城大学教育学部附属特別支援学校

- ラベンダーのサシェ
- エコクラフトテープコースター
- スウェーデン刺繍コースター
- アクリルたわし
- こぎん刺し壁飾り
- アイロンビーズクリップマグネット

筑波大学附属大塚特別支援学校

- ラベンダーのサシェ
- エコクラフトテープコースター
- スウェーデン刺繍コースター
- アクリルたわし
- こぎん刺し壁飾り
- アイロンビーズクリップマグネット

富山大学教育学部附属特別支援学校

- 小物入れ
- あずまぶくろ
- コースター
- トートバック
- トートバックポケット付き
- マグネットクリップ
- ミニトートバック
- 鍋つかみ

福井大学教育学部附属特別支援学校

- 和紙の染め封筒

愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- 乗り物イラスト メモ帳
- 伊予かすり古文様 缶マグネット

滋賀大学教育学部附属特別支援学校

- 小皿
- コースター
- クラフトバンドストラップ・キーホルダー

香川大学教育学部附属特別支援学校

- マグネットしおりと荷札タグ

山口大学教育学部附属特別支援学校

- ガーゼハンカチ

熊本大学教育学部附属特別支援学校

- ちぎれるふせん

販売ブースのご案内

大会期間中、特別支援学校の生徒が校内でつくったお菓子のほか、卒業生が活躍する福祉事業所の製品を販売します。ぜひ、全国大会のおみやげとしてご利用ください。

hocco sweets

菓子製品

「hocco sweets」は高知大学教育学部附属特別支援学校の校内に、オープンするお菓子屋さんで、心のこもったハイクオリティなお菓子は、地域の方々に愛されています。

工房わかぎり

レザークラフト製品

「工房わかぎり」は筑波大学附属大塚特別支援学校の親の会を母体にした作業所です。数ある革製品の中から今回は犬のペンケースを！

富山大学教育学部附属特別支援学校

デコパージュマグネット

筑波大学附属大塚特別支援学校

菓子製品

学校園・参加者数　2023.9.21 現在　180 校園　558 名

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
1	北海道教育大学附属札幌小学校	4	2	3	9
2	北海道教育大学附属札幌中学校	2	3	1	6
3	北海道教育大学附属函館小学校	2	1	1	4
4	北海道教育大学附属特別支援学校	3	1	0	4
5	北海道教育大学附属旭川幼稚園	0	0	1	1
6	北海道教育大学附属旭川小学校	3	1	0	4
7	北海道教育大学附属旭川中学校	4	1	1	6
8	北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程	1	1	0	2
9	北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程	1	1	0	2
10	弘前大学教育学部附属幼稚園	0	0	0	0
11	弘前大学教育学部附属小学校	2	1	1	4
12	弘前大学教育学部附属中学校	1	1	0	2
13	弘前大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
14	岩手大学教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
15	岩手大学教育学部附属小学校	4	2	0	6
16	岩手大学教育学部附属中学校	2	1	1	4
17	秋田大学教育文化学部附属中学校	1	0	0	1
18	宮城教育大学附属幼稚園	0	1	0	1
19	宮城教育大学附属小学校	2	0	2	4
20	宮城教育大学附属中学校	2	1	0	3
21	宮城教育大学附属特別支援学校	2	0	0	2
22	山形大学附属幼稚園	0	0	0	0
23	山形大学附属中学校	1	0	0	1
24	山形大学附属特別支援学校	1	0	0	1
25	福島大学附属幼稚園	1	0	0	1
26	福島大学附属小学校	3	0	1	4
27	茨城大学教育学部附属幼稚園	0	0	0	0
28	茨城大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
29	茨城大学教育学部附属中学校	3	0	0	3
30	茨城大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
31	宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
32	宇都宮大学共同教育学部附属小学校	1	0	1	2
33	宇都宮大学共同教育学部附属中学校	6	0	0	6
34	宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
35	群馬大学共同教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
36	群馬大学共同教育学部附属中学校	4	0	0	4
37	埼玉大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
38	埼玉大学教育学部附属小学校	3	0	1	4
39	埼玉大学教育学部附属中学校	3	2	0	5
40	千葉大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
41	千葉大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
42	千葉大学教育学部附属中学校	5	0	0	5
43	千葉大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
44	筑波大学附属小学校	6	0	1	7

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
45	筑波大学附属中学校	2	1	2	5
46	筑波大学附属高等学校	1	0	0	1
47	筑波大学附属駒場中学校	1	0	0	1
48	筑波大学附属駒場高等学校	1	0	0	1
49	筑波大学附属坂戸高等学校	2	0	0	2
50	筑波大学附属大塚特別支援学校	3	1	0	4
51	お茶の水女子大学附属幼稚園	12	0	0	12
52	お茶の水女子大学附属小学校	4	0	0	4
53	お茶の水女子大学附属中学校	7	0	0	7
54	お茶の水女子大学附属高等学校	7	0	0	7
55	東京学芸大学附属世田谷小学校	3	0	4	7
56	東京学芸大学附属小金井小学校	5	0	1	6
57	東京学芸大学附属小金井中学校	7	0	0	7
58	東京学芸大学附属大泉小学校	0	0	1	1
59	東京学芸大学附属竹早小学校	2	0	0	2
60	東京学芸大学附属国際中等教育学校（後期）	3	0	0	3
61	東京学芸大学附属特別支援学校	2	0	0	2
62	東京大学教育学部附属中等教育学校 (後期)	3	0	0	3
63	横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校	4	0	0	4
64	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	0	0	2	2
65	横浜国立大学教育学部附属横浜小学校	2	0	0	2
66	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校	5	0	0	5
67	山梨大学教育学部附属中学校	2	0	0	2
68	山梨大学教育学部附属特別支援学校	0	2	0	2
69	新潟大学附属新潟小学校	4	0	0	4
70	新潟大学附属新潟中学校	5	0	0	5
71	上越教育大学附属幼稚園	0	0	0	0
72	上越教育大学附属小学校	1	0	0	1
73	富山大学教育学部附属幼稚園	0	0	0	0
74	富山大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
75	富山大学教育学部附属中学校	4	0	1	5
76	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園	3	1	1	5
77	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校	1	0	0	1
78	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校	1	0	1	2
79	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	1	1	1	3
80	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校	1	0	0	1
81	福井大学教育学部附属特別支援学校	0	0	0	0
82	信州大学教育学部附属長野小学校	1	0	0	1
83	信州大学教育学部附属長野中学校	1	0	0	1
84	信州大学教育学部附属松本中学校	0	0	0	0
85	岐阜大学教育学部附属小中学校	7	1	0	8
86	静岡大学教育学部附属静岡小学校	1	0	0	1
87	静岡大学教育学部附属静岡中学校	1	0	0	1
88	静岡大学教育学部附属浜松小学校	5	1	0	6
89	静岡大学教育学部附属浜松中学校	4	1	0	5
90	静岡大学教育学部附属島田中学校	1	0	1	2

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
91	静岡大学教育学部附属特別支援学校	3	0	0	3
92	愛知教育大学附属名古屋小学校	4	0	0	4
93	愛知教育大学附属名古屋中学校	3	0	1	4
94	愛知教育大学附属岡崎小学校	4	0	0	4
95	愛知教育大学附属岡崎中学校	7	0	0	7
96	名古屋大学教育学部附属高等学校	2	1	0	3
97	三重大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
98	三重大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
99	三重大学教育学部附属中学校	1	0	0	1
100	三重大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
101	滋賀大学教育学部附属幼稚園	0	0	0	0
102	滋賀大学教育学部附属小学校	1	0	0	1
103	滋賀大学教育学部附属中学校	1	0	0	1
104	滋賀大学教育学部附属特別支援学校	0	0	0	0
105	京都教育大学附属幼稚園	0	0	0	0
106	京都教育大学附属京都小中学校 (初等部)	3	1	0	4
107	京都教育大学附属桃山小学校	1	0	0	1
108	京都教育大学附属桃山中学校	5	0	0	5
109	京都教育大学附属高等学校	2	1	0	3
110	京都教育大学附属特別支援学校	0	0	0	0
111	大阪教育大学附属平野中学校	0	0	0	0
112	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	1	0	0	1
113	神戸大学附属幼稚園	1	1	0	2
114	神戸大学附属中等教育学校 (前期)	4	0	0	4
115	兵庫教育大学附属小学校	2	0	0	2
116	奈良女子大学附属幼稚園	1	0	0	1
117	奈良女子大学附属小学校	3	0	2	5
118	奈良女子大学附属中等教育学校 (後期)	1	1	0	2
119	奈良教育大学附属幼稚園	0	0	0	0
120	奈良教育大学附属中学校	2	0	0	2
121	和歌山大学教育学部附属中学校	1	2	0	3
122	鳥取大学附属小学校	4	2	0	6
123	鳥取大学附属中学校	3	0	0	3
124	島根大学教育学部附属幼稚園	2	1	0	3
125	島根大学教育学部附属義務教育学校（前期）	3	1	0	4
126	島根大学教育学部附属義務教育学校（後期）	1	1	0	2
127	岡山大学教育学部附属幼稚園	3	1	0	4
128	岡山大学教育学部附属小学校	2	2	0	4
129	岡山大学教育学部附属中学校	3	2	1	6
130	岡山大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
131	広島大学附属小学校	2	2	2	6
132	広島大学附属高等学校	1	1	1	3
133	広島大学附属東雲小学校	3	2	1	6
134	広島大学附属東雲中学校	2	1	1	4
135	広島大学附属三原幼稚園	1	1	0	2
136	広島大学附属三原小学校	2	1	0	3

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
137	広島大学附属三原中学校	2	1	0	3
138	広島大学附属福山中学校	1	1	0	2
139	広島大学附属福山高等学校	0	2	1	3
140	山口大学教育学部附属山口小学校	3	2	1	6
141	山口大学教育学部附属山口中学校	4	1	0	5
142	山口大学教育学部附属光中学校	1	0	1	2
143	山口大学教育学部附属特別支援学校	0	1	0	1
144	鳴門教育大学附属幼稚園	1	1	0	2
145	鳴門教育大学附属小学校	3	1	0	4
146	鳴門教育大学附属中学校	4	2	0	6
147	鳴門教育大学附属特別支援学校	1	1	0	2
148	香川大学教育学部附属高松小学校	3	2	0	5
149	香川大学教育学部附属高松中学校	4	1	0	5
150	香川大学教育学部附属坂出小学校	3	0	0	3
151	香川大学教育学部附属坂出中学校	3	0	0	3
152	愛媛大学教育学部附属小学校	2	1	2	5
153	愛媛大学教育学部附属中学校	1	0	1	2
154	愛媛大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
155	高知大学教育学部附属幼稚園	1	1	0	2
156	高知大学教育学部附属小学校	4	1	0	5
157	高知大学教育学部附属中学校	3	1	0	4
158	高知大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
159	福岡教育大学附属福岡小学校	2	2	0	4
160	福岡教育大学附属福岡中学校	3	1	0	4
161	福岡教育大学附属小倉小学校	2	0	0	2
162	福岡教育大学附属小倉中学校	3	2	0	5
163	福岡教育大学附属久留米中学校	2	0	2	4
164	佐賀大学教育学部附属小学校	1	0	0	1
165	佐賀大学教育学部附属中学校	2	0	0	2
166	長崎大学教育学部附属中学校	3	1	1	5
167	熊本大学教育学部附属幼稚園	2	1	0	3
168	熊本大学教育学部附属小学校	5	0	1	6
169	熊本大学教育学部附属中学校	7	0	1	8
170	熊本大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
171	大分大学教育学部附属幼稚園	1	1	0	2
172	大分大学教育学部附属小学校	5	1	2	8
173	宮崎大学教育学部附属幼稚園	0	0	0	0
174	宮崎大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
175	宮崎大学教育学部附属中学校	5	0	0	5
176	鹿児島大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
177	鹿児島大学教育学部附属小学校	3	0	2	5
178	鹿児島大学教育学部附属中学校	3	1	0	4
179	琉球大学教育学部附属小学校	1	0	2	3
180	琉球大学教育学部附属中学校	9	0	1	10
		412	89	57	558

お礼の言葉

髙地 たか子
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会
副会長・全国大会実行委員長

実行委員長として、一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会（全附Ｐ連）ＰＴＡ研修会第 14 回全国大会は、記念すべき大会になったと自負しております。それは、未曽有のコロナ禍を経て、4 年ぶりに通常の開催をすることができたからです。たくさんのスタッフの知恵と情熱により、本日を迎えることができました。携わってくださった、多くの皆さま・お忙しい中、ご臨席いただいた来賓の皆さま、遠路はるばるお越しいただいた参加者の皆さまのご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

「子どもたちとこの国の未来のために」～新時代の扉を開こう！これから求められる力とは～をスローガンに、今大会は展開いたしました。子どもたちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化をしています。『日本の今』の教育環境にある課題解決につながる内容で学びあえるプログラムを企画し、「生きる力」を育むヒントになったのであれば、主催者として望外の喜びです。

全附Ｐ連の使命は、全国の国立大学附属学校の子どもたちを縁の下の力持ちとして、支えていくことです。これからもその様な働きかけを積極的に継続してまいります。

最後になりましたが、プログラムの一部はオンデマンド配信を予定しております。 是非とも、たくさんのお仲間に周知いただきご視聴いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

改めまして、ご参加いただいた皆さま、多くの関係者の皆さまに心より感謝申し上げ、御礼の辞とさせていただきます。

終わりの言葉

真壁 雄一
一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会
研修委員長・全国大会副実行委員長

この度は、一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会（全附Ｐ連）ＰＴＡ研修会第 14 回全国大会に全国各地より多くの皆様に参加いただいたことに、心より感謝申し上げます。

昨年度は３年ぶりに集合型で開催されましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、様々な制限がありました。今年度は、感染症分類で５類に引き下げられ、皆様の笑顔が見られる状況になった研修会を楽しんでいただけたでしょうか。研修会を通して得た、出会い、学び、気づきを所属の学校、地域で活かしていただければ幸いです。

また、プログラムの一部はオンデマンド配信を予定しております。ご視聴いただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様、並びに大会の企画運営にご協力いただきました多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

大会実行委員

会長	三重大学教育学部附属小学校	桑名　良尚
直前会長	茨城大学教育学部附属中学校	大竹　昌士
実行委員長（副会長）	千葉大学教育学部附属中学校	髙地たか子
副実行委員長（研修委員長）	埼玉大学教育学部附属中学校	真壁　雄一
副会長	香川大学教育学部附属坂出中学校	宮本　昌尚
	奈良女子大学附属中等教育学校	森川　誠
	静岡大学教育学部附属浜松中学校	二村　美里
	福島大学附属特別支援学校	齋藤　伸
専務理事	お茶の水女子大学附属中学校	山口　泰一
理事	島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程	田城　敏史
	新潟大学附属新潟小学校	白勢　啓仁
	鹿児島大学教育学部附属小学校	山ノ内元治
	弘前大学教育学部附属小学校	後藤　友樹
	神戸大学附属小学校	羌　叡應
	北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程	松井　聖治
	愛媛大学教育学部附属中学校	藤井　大介
	広島大学附属東雲小学校	小藤　智也
	東京学芸大学附属世田谷小学校	松原　賢宏
	三重大学教育学部附属中学校	世古　丈人
	新潟大学附属新潟中学校	内山　航
監事	元岩手大学教育学部附属中学校	田口　智之
	元岡山大学教育学部附属中学校	大倉　宏治
顧問	元香川大学教育学部附属坂出中学校	神余　智夫
	奈良女子大学附属中等教育学校	萩原　清明
	香川大学教育学部附属高松小学校	谷田部秀男
	滋賀大学教育学部附属小学校	西村　寧
	元茨城大学教育学部附属中学校	幡谷 公朗
専門委員	元大阪教育大学附属高等学校平野校舎	呉本 啓郎
	元神戸大学附属特別支援学校	増田　梓
準備員	元東京学芸大学附属高等学校	石塚由紀子
	東京学芸大学附属国際中等教育学校	前田　るり
	お茶の水女子大学附属高等高校	越川　有希
協力員	元筑波大学附属高等学校	岡島絵美子
	元東京学芸大学附属高等学校	東　悦子
	元東京学芸大学附属高等学校	山﨑　澄江
	横浜国立大学教育学部附属横浜小学校	竹下　英明
	埼玉大学教育学部附属中学校	大﨑　郁乃
	埼玉大学教育学部附属中学校	新井　寛子
	埼玉大学教育学部附属中学校	福地まゆみ
	埼玉大学教育学部附属小学校	古谷　彩
	埼玉大学教育学部附属小学校	吉野　之乃
	千葉大学教育学部附属小学校	阿部早希子
	千葉大学教育学部附属中学校	林　育子
事務局	事務局長	田中　一晃
	事務主事	美野　未来

＜協力＞

編集・デザイン	株式会社文成社	内藤寿美子
登録・システム	株式会社オールアラウンド	長谷川浩二
撮影・配信	株式会社アクエルド	内藤　明

ご案内

- 大きなお荷物は、ホテルの地下１階エスカレーター横のクロークにお預けいただけます。
- 主催者では、盗難・紛失等の責任を負いかねますので、貴重品とお手回りの管理には十分ご注意ください。
- 携帯電話は、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定のうえ、通話はご遠慮ください。
- 各講演の聴講に際し、許可のない撮影･録音は固くお断りいたします。
- 会場内は禁煙となっております。地下１階の喫煙コーナーをご利用いただけます。
- 会場内での飲食は禁止となっております。ただし、ペットボトルや水筒での飲み物は可能とします。
- 販売品のお菓子類はお土産のため、会場内でのお召し上がりはご遠慮願います。
- アンケートのご協力をお願いいたします。ご回答いただきました内容につきましては、今後の活動に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

各アンケート

集合型参加者

https://forms.gle/w1grzSy2NxkXbUds6

後日配信版オンライン参加者

https://forms.gle/WbZDqAYDQ3HpTWXz9

一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会 ＰＴＡ研修会 第14回全国大会

大会要項　令和5年9月29日～9月30日

発行者　一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会

発行所　全附連事務局

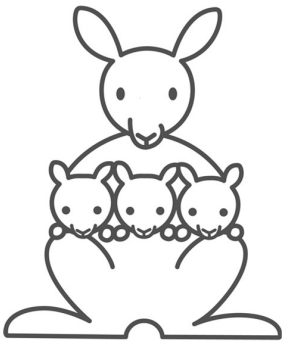
〒113-0033
文京区本郷４丁目16－６　905・907
TEL.03-3591-2091　FAX.03-3591-2092
E-mail jimukyoku@zenfuren.org
HP https://www.zenfuren.org/

2023年度

カンガルー保険（全員加入制度）

※個人での加入はできません。

保険期間：2023年6月1日午後4時から2024年6月1日午後4時まで



園児・児童・生徒、教職員の皆さまのケガなどを補償する

＜1＞園児・児童・生徒・教職員 総合補償制度

（学校契約団体傷害保険、賠償責任保険PTA特約）

園児・児童・生徒、教職員の皆さまを犯罪事故からお守りする

＜2＞犯罪被害事故　見舞補償制度

（傷害総合保険）

PTA活動に参加中のご両親・教職員のさまのケガや賠償事故を補償する

＜3＞PTA活動総合補償制度

（普通傷害保険PTA団体傷害特約、賠償責任保険PTA管理者特約、生産物特約）

※「カンガルー保険（全員加入制度）」は全国国立大学附属学校PTA連合会を保険契約者、損害保険ジャパン株式会社を引受保険会社とし、学校契約団体傷害保険、傷害総合保険、PTA団体傷害保険、賠償責任保険（PTA特約、PTA管理者特約、生産物特約）をそれぞれ組み合わせて加入する補償制度のペットネームです。

カンガルー保険（全員加入制度）は、以下の取扱代理店にお問い合わせください。

※この広告は概要を説明したものとなります。詳細はパンフレットをご覧くださるか、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

＜お問い合わせ先（資料請求はこちらへ）＞

【取扱代理店】（北海道・東北・関東・北信越・四国地区）株式会社　第一成和事務所　東京都中央区日本橋久松町１１－６　日本橋ＴＳビル８階
TEL：0120-100-492・03-3669-2831　ＦＡＸ：03-3667-9037
受付時間：平日の９：００～１７：３０（土日、祝日、１２/２９～１/４を除きます。）

（東海・近畿・中国・九州地区）　海上商事株式会社　東京都渋谷区代々木２－１１－１５　新宿東京海上日動ビルディング
TEL：0120-745-748　FAX：03-3320-4877
受付時間：平日の９：３０～１７：３０（土日、祝日を除きます。）

【引受保険会社】損害保険ジャパン株式会社　団体･公務開発部 第三課　〒160-8338　東京都新宿区西新宿１－２６－１　TEL:03－3349－5408　FAX:03－6388－0162

SJ23-00767　2023/04/20

全国国立大学附属学校園の幼児・児童・生徒の保護者の皆様へ

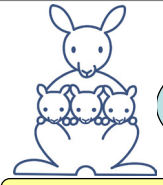
24時間補償

☆2023年度☆
☆中途加入受付中☆

カンガルー保険のご案内

（団体総合生活保険）　（任意加入制度）

この保険は全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会の団体保険です。



約５０％割引
全国国立大学附属学校PTA連合会が窓口の団体契約なので、保険料が約50%割安です。
・団体割引：30%　・損害率による割引：25%
・大口団体契約割引：10%　適用

２４時間補償
お子様を取り巻く様々なリスクに対応した安心のための24時間補償制度です。

簡単・便利！
・保険料のお支払は、便利な「口座振替方式」
・更新のお手続きは、便利な「自動更新」です。

保険期間	**2023年4月1日午後4時から2024年4月1日午後4時まで1年間** ※随時ご加入いただけます。（お申込日にかかわらず、補償は2024年4月1日午後4時に終了します。） ※ご加入ご希望の方は、取扱代理店までお問い合わせください。
加入対象者	①全国国立大学附属学校園に在籍の幼児・児童・生徒 ②本制度にご加入いただいた上記①の兄弟で、公・私立の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校に通われている幼児・児童・生徒（ご加入時に満3歳以上から満18歳以下の方に限ります。）
加入手続き	**パンフレット差込の加入依頼書にご記入・ご捺印（銀行届出印）のうえ、返信用封筒にてご返送ください。**
申込締切日	**随時ご加入いただけます。（お手続きの翌月１日（午後４時）からの補償開始となります。）** **※パンフレットのご請求、保険料につきましては、取扱代理店までお問い合わせください。**

詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。

お問合せ先【取扱代理店】

《北海道・東北・関東・北信越・四国地区》株式会社第一成和事務所　東京都中央区日本橋久松町11－6　日本橋TSビル8F　TEL0120-100-492

《東海・近畿・中国・九州地区》　海上商事株式会社　東京都渋谷区代々木2-11-15　新宿東京海上日動ビルディング　TEL0120-745-748

このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

【引受保険会社】東京海上日動火災保険株式会社

（担当課）公務第二部 文教公務室　〒102-8014　東京都千代田区三番町６－４
TEL:03－3515－4133　FAX:03－3515－4132

22TC-102967　2023年3月作成

地域別カラー

- 北海道
- 東北
- 関東
- 北信越
- 東海
- 近畿
- 中国
- 四国
- 九州
- STAFF

校種別カラー

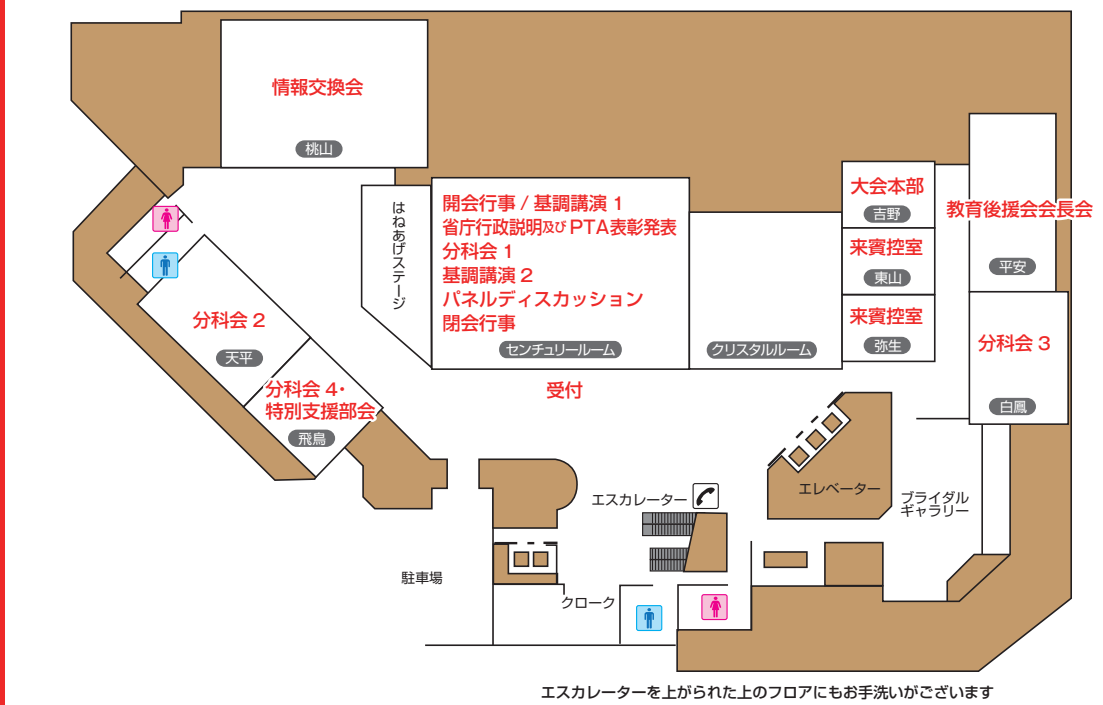
- 特支
- 幼
- 小
- 中・高
- 来賓・後援会

1日目　2023年9月29日（金）

1日目	12:00	12:50	13:00	13:45	14:00	15:05	15:20	16:00	16:20	17:00	17:50	18:00	19:00
プログラム / 部屋名	受付 12:00～12:50		開会行事 13:00～13:45		基調講演 1 13:45～15:05	休憩	行政説明及びPTA表彰 15:20～16:00	休憩	テーマ別分科会 16:20～17:50			情報交換会 18:00～19:00	
センチュリールーム	受付		開会行事		基調講演（阪根　健二氏）		行政説明及びPTA表彰		分科会 1				
桃山												情報交換会	
天平									分科会 2				
白鳳									分科会 3				
飛鳥									分科会 4・特別支援部会				
平安									全附後連会長会				
弥生	来賓控室												
東山													
吉野	大会本部												

2日目　2023年9月30日（土）

2日目	8:30	8:50	9:00	10:15	10:45	11:10	12:30	12:40
プログラム / 部屋名	受付 8:30～8:50		基調講演 2 9:00～10:15	全附Ｐ連活動報告 カンガルー保険 10:15～10:45	休憩	パネルディスカッション 11:10～12:30		閉会行事 12:30～12:40
センチュリールーム	受付		基調講演（松田　文登氏）	全附Ｐ連活動報告 カンガルー保険		パネルディスカッション		閉会行事
弥生	来賓控室							
吉野	大会本部							



エスカレーターを上がられた上のフロアにもお手洗いがございます